

◎ 管理栄養士になるためには

管理栄養士は、患者さんの健康を栄養面からお手伝いする、医療における栄養管理の専門家です。

病院で医療に携わる職員は、医師・看護師以外にも多くの職種が関わっています。その中で管理栄養士は、患者さんの病態や状態に合わせて、また、安心・安全でおいしいお食事の提供ができるよう、給食管理を行います。そして、患者さんの栄養状態を把握しその維持、改善に向けた栄養ケアを医師、看護師などの多職種で検討、実施します。

大学・専門学校・短大で学び、国家試験を受験します。

管理栄養士になるには、高校卒業後、厚生労働大臣指定の栄養士養成施設、または文部科学大臣・厚生労働大臣指定の管理栄養士養成施設で栄養士の資格を取得した後に管理栄養士の国家試験を受験する必要があります。管理栄養士の免許を取得するには、4年制の大学や専門学校の管理栄養士養成課程に進むか、栄養士養成施設を卒業後に、実務経験を経て管理栄養士の受験資格を得る方法があります。

管理栄養士の大学について

【学費】

管理栄養士大学の費用は4年間で250～760万円程度。一般的な学費は442万円程度です。(入学金及び教科書代などを除く)

国公立大学は250～300万円程度、私立大学は400～600万円程度です。

【学習】

一般的なカリキュラム(教育課程)は次のとおりです。

詳しくは、各学校のホームページなどを参照してください。

1年次・・・ 基礎学力の向上及び教養を身に付ける

食品学総論、食品学各論、化学実験、食品化学実験他

2～3年次・・・ 専門基礎科目・専門科目を学ぶ、専門職に対する体験と知識の
応用を学ぶ

栄養情報処理演習、情報処理基礎演習、解剖生理学、生化学他

公衆衛生学(総論、各論)、解剖生理学実験、生化学、生化学実験他

4年次・・・ 人々の健康の保持・増進に貢献できる管理栄養士としての総合力を
身に付ける

社会福祉、総合基礎栄養学、総合応用栄養学、総合栄養教育論他

○ 国家試験の難易度・合格率

管理栄養士国家試験は年に1回、毎年3月中旬に実施され、最近の試験の合格率を見ると、61.9%でした。合格基準は200満点中120点以上です。

○ 管理栄養士になった後の専門資格

管理栄養士になった後でも、さらに専門的な知識を要する「専門資格」があります。

- ・NST専門療法士
- ・病態栄養認定管理栄養士
- ・糖尿病療養指導士
- ・いわて糖尿病療養指導士
- ・がん病態栄養専門管理栄養士
- ・腎臓病病態栄養専門管理栄養士
- ・糖尿病病態栄養専門管理栄養士

- ・摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士
- ・在宅栄養専門管理栄養士
- ・静脈経腸栄養(TNT-D)管理栄養士
- ・栄養経営士